

会員の皆様

第12回「情報システムのあり方と人間活動」研究会開催について（最終回）

研究会主査 伊藤重隆

3月12日研究会を大震災のため中止しましたが、下記の様に再開いたします。第1部は、昨年6月26日に開催された本学会シンポジウムの講演（ソフトウェア工学とシステムデザイン・マネジメント）に共通するキーと考えられる「メタ技術」の教育と学習成果について講演頂きます。第2部は、情報システムを考える上で、重要なシステムエンジニアリング国際評議会（INCOSE）が提唱するフレームワークの動向と Information Architecture 研究、更にその実践について海外の最新状況折り込んで講演頂き議論を深めたいと考えます。

第12回「情報システムのあり方と人間活動」研究会開催ご案内

下記の要領により、第12回研究会を開催しますので奮ってご参加ください。参加希望の方は、主査までご連絡をお願いします。

（メールアドレス：shigetaka.itou@mizuho-ir.co.jp）

開催日時 平成23年6月4日（土）午後1時30分～5時

場所 慶應義塾大学日吉キャンパス協生館6階

【場所説明】

日吉駅地上改札を出てキャンパス右に見える大きな建物です。入館後、30m程直進し右手エレベータで6階に降り左へ向かいます。ドア前の内線で38022か38008へ電話し、研究会参加とお伝えください。直後にドアが開錠されます。

■第1部 午後1時30分—午後3時10分（内質疑20分程度）

講演題目 「大学・大学院における実践教育で教育・学習するメタ技術」

講演者 法政大学情報科学部コンピュータ科学科

溝口 徹夫 教授

— 10分 休憩 —

第2部 午後3時20分—午後4時30分（質疑30分程度）

講演題目 「システムエンジニアリングの世界動向と Information Architecture 研究とその実践への影響」

講演者 慶應義塾大学大学院

システムデザイン・マネジメント（SDM）研究科

嶋津 恵子 准教授

研究会終了ご挨拶 主査・幹事

以上